1 調査の目的

本調査は、「富士市に住んで私はこう思う〜第五次富士市総合計画の評価に係る市民意識調査〜」・「新型コロナウイルス感染症の富士市の福祉への影響」・「富士市の文化財」について、市民の意識・評価・要望などを把握することを目的とした。

2 調査の内容

「富士市に住んで私はこう思う〜第五次富士市総合計画の評価に係る市民意識調査〜」・「新型コロナウイルス感染症の富士市の福祉への影響」・「富士市の文化財」について

3 調査の設計

- (1)調査地域 富士市全域
- (2)調査対象 富士市在住の満18歳以上80歳未満の市民
- (3)標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5)調查方法 郵送調查
- (6)調査期間 令和3年6月14日~7月5日
- (7) 調査機関 株式会社サーベイリサーチセンター静岡事務所

4 回収結果

- (1) 発送数 3,000人(100.0%)
- (2)回収数 1,708人(56.9%)
- (3) 有効回収数 1,707人(56.9%)

※有効回収数は、回収したが記入のない(または少ない)調査票を除いて集計した数。

5 居住地区別回収率

居住地区	発送数(人)	有効回収数(人)	有効回収率(%)
吉原	116	64	55. 2
伝法	143	99	69. 2
今泉	121	69	57. 0
神戸	53	33	62. 3
広見	136	70	51. 5
青葉台	126	53	42. 1
大淵	149	91	61. 1
富士見台	61	35	57. 4
原田	44	25	56. 8
吉永	57	32	56. 1
吉永北	26	10	38. 5
須津	97	54	55. 7
浮島	10	5	50. 0
元吉原	76	40	52. 6
富士駅北	135	65	48. 1
富士北	129	95	73. 6
富士駅南	167	94	56. 3
田子浦	206	122	59. 2
富士南	263	151	57. 4
岩松	162	84	51. 9
岩松北	130	53	40. 8
鷹岡	174	117	67. 2
丘	181	73	40. 3
天間	100	57	57. 0
富士川	66	44	66. 7
松野	72	44	61. 1
分からない	_	10	_
無回答	_	18	_
合 計	3, 000	1, 707	56. 9

6 報告書を読む際の注意事項

- 1 各設問の表の中や欄外に記載した回答割合の比率はすべて百分比であらわし、小数第2位を四捨 五入している。このため百分比の合計が100%にならないことや、複数の合計が合わないことがある。
- 2 基数となるべき回答者数は、nと表示しており、回答比率はこれを100%として算出した。
- 3 1つの質問に2つ以上回答できる設問の場合は、百分比の合計が100.0%を超える場合がある。
- 4 選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがある。
- 5 分析の軸にある性別は、「その他」の件数が少ないため、グラフへの掲載は省略している(「その他」の回答割合は、109ページ以降の『V. 結果の数表』を参照)。また、年代は10代の件数が少ないため、20代とまとめて「20代以下」としている。
- 6 分析の軸として用いたライフステージは、次のように分類している。

独身期	18~39 歳の未婚者
家族形成期	第一子が未就学児、または 40 歳未満の夫妻のみ
家族成長前期	第一子が小・中学生
家族成長後期	第一子が高校生・予備校生・大学受験生・短大・高専・大学・ 大学院・専門学校などの学生
家族成熟期	第一子が学校教育終了
老齢期	60 歳以上の人

※ 家族形成期~家族成熟期の子どものいる人は、いずれも 60 歳未満の人とした。40 代・50 代の 未婚者、40 代・50 代の夫妻のみなど、分類されていない層がある。 7 この調査は、無作為抽出により対象者を抽出したので、標本誤差は次式で近似できる。

 $\epsilon=2$ $\begin{array}{c} P & (1-P) \\ \hline & n & \\ & P & \\ \hline & & \\ &$

回答者総数 (1,707 人) を 100% とする質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が 50% であるとすると、母集団 (18 歳以上 80 歳未満の富士市民全体) の回答比率は $47.58\% \sim 52.42\%$ の間であると推定される。

回答比率	標本誤差
50%	±2. 42%
60%または 40%	±2. 37%
70%または30%	±2. 22%
80%または 20%	±1.94%
90%または 10%	±1.45%